

みんなの夢が「かたち」になった。

# ◆夢◆絵本◆ついに完成!!

「不審火で暗くなってしまったまちを、絵本をつくって明るくしたい」という二幸小学校児童たちの「夢」が青少年育成広島県民会議の「夢配達人プロジェクト」に選ばれ、始まった絵本づくり。プロの絵本作家や地域の方々の協力を得て、この秋ついに完成を迎えた。



極寒の中での取材



みんなで絵を描いた



作家に指導を受けて絵も完成



絵本は、二幸小学校へ転校してきた主人公のこが「夢」をかなえるために失われた4つのドリームストーン（夢の石）を友達と一緒に探しに行くという冒険の物語。随所に神石高原町の魅力が心にくいほどちりばめられており、およそ1年をかけて完成。

児童たちは各地域で取材を重ね地元の方に話を聞き、神石高原町の風土・産業・特色・伝説を学んで物語を考えた。そして、物語を思い浮かべながら柔らかな色彩でのびのびと描いた絵も、この絵本の魅力を一層際立たせている。



想像した以上の仕上がりに「夢みたい！」

ついに本が完成  
歓声が上がった

4つのドリームストーンのありかは、彼らが取材で訪れた町内4地区のそれぞれの特別な場所。4つのドリームストーンがそろったときに初めてかなうにこの「夢」。それは、4つがそろったときに初めてかなう神石高原町の「夢」と重なった。



## 絵本完成発表会のお知らせ

二幸小学校児童による絵本の読み語り、写真や絵の原画展を開催します。みなさんぜひお越しください。

お問い合わせ（絵本の入手方法や発表会など）

夢配達人プロジェクト神石高原町実行委員会事務局（教育課生涯学習係）  
電話 89-3344

- 第1回 10月16日(木) 絵本完成発表会(二幸小学校研究会)
- 第2回 10月26日(日) さんわふるさとフェア
- 第3回 11月 2日(日) 青少年育成県民運動推進大会  
(中国新聞社ホール)
- 第4回 11月 9日(日) ふれあい神石まつり
- 第5回 11月16日(日) 「食・読・遊」実践交流会  
図書館まつり(シルトピアカレッジ)  
※パネル展のみ

## ヒヤシンスに込められた「思いやり」の心

ヒヤシンスを育てることで思いやりの心をはぐくんではいといと、人権の花運動が9月下旬から10月にかけて町内の各小学校で行われました。高蓋小学校では9月25日、佐伯知省人権擁護委員（高蓋）が「お互い助け合いながら生活してほしい」と水栽培用の透明の鉢に入ったヒヤシンスの球根を贈呈。受け取った生徒代表の大島経寛くん（小6）は「思いやりのある学校にしたい」と誓いました。

この人権の花運動は、基本的な人権尊重の精神を身につけてもらうことを目的に福山人権擁護委員協議会が昭和60年から毎年続けているもので、生徒たちのヒヤシンスは「来年1月頃花を咲かせる」とのことです。



## 「長寿おめでとう」がびびります！

～敬老会・老人福祉大会開催～

今年も各地区で敬老会・老人福祉大会が開催されました。町内の100歳以上の方は19人で、今年度中に100歳になる（明治41年



4月1日から明治42年3月31日までの間に生まれた方）4名の方へ、内閣総理大臣からお祝い状と銀杯が贈られました。これからも健康に気を付け、いつまでもお元気でお過ごしください。

## 県政懇談会「You雄トーク」開催

9月12日、三和の森リゾート&カンファレンスセンター（時安）で県政懇談会「You雄トーク」が開催されました。町内各地区から7名の皆さんが参加。過疎・耕作放棄地対策・地産地消の促進・農業人材の育成など多岐にわたるテーマについて、意見や提案を藤田雄山広島県知事に伝えました。藤田知事はそれぞれに対して県の実情・取り組み、自らの考えを伝え、「今後の県政に活かしていきたい」と話されました。



## 陶板に卒業記念の作品を描く

油木中学校と豊松中学校3年生40人が、10月1日、仙養ヶ原ふれあいの里（まきはの夢工房）で卒業記念の陶板作品に挑戦。油木中学校は「体育祭」、豊松中学校は「特産トマトの収穫」の体験を思い起し、用意した図案に沿って粘土板へ描きました。完成後に、備前焼作家の森泰司さん（備前市）から、「中学生生活の生き生きした体験が作品によく表現されている」と講評がありました。作品は、11月中に備前焼窯で焼き、12月初旬には仙養ヶ原へ展示されます。



この行事は、校区に接する仙養ヶ原へ卒業の思い出を残そうと両校が平成17年度から始め、今回で4回目となりました。展示板は、新たな観光スポットとしても期待されます。